

授業科目名		コミュニケーション・人間関係論		担当教員	諏訪 茂樹	科目ナンバリング LE101
必修	開講年次： 1 年前期		単位： 1 単位	授業形態： 演習30時間		

【授業概要】

自己理解を深め、その上でコミュニケーションの知識、技法を学ぶことにより、日常の人間関係を良好に保つ能力を身に付けるとともに、看護の対象となる人との良好な関係づくりの基盤を学ぶ。

【達成目標】

1. 感情に基づく人間関係の問題に対処することができる。
2. 自分から見た自分、自分から見た他者、他者から見た自分などについて、理解することができる。
3. 言語、準言語、非言語により、メッセージを上手く共有することができる。
4. メッセージの影響について、説明することができる。
5. 各場面にふさわしい言葉遣いや言葉かけを実践することができる。
6. 各場面で必要な人間関係を築くことができる。

【履修条件】

教科書はワークブックとして使用し、授業中に書き込んでいくため、未使用のものを必ず持参すること。

【授業計画】

- [01] 対人感情(好き嫌いの人間関係)
- [02] 対人認知1(他者理解の体験学習)
- [03] 対人認知2(自己理解の体験学習)
- [04] コミュニケーション意欲を高めるトレーニング
- [05] 言語によるメッセージの共有トレーニング
- [06] 非言語によるメッセージの共有トレーニング
- [07] コミュニケーション効果(喜ばれる言葉と嫌われる言葉)
- [08] コミュニケーション技法トレーニング1(うなづき、相槌、繰り返し)
- [09] コミュニケーション技法トレーニング2(要約、共感)
- [10] コミュニケーション技能(ケーススタディ)
- [11] チームワークの基礎となる協力関係トレーニング
- [12] 会議時の人間関係トレーニング
- [13] 危機対処時の人間関係トレーニング
- [14] 通常時の人間関係トレーニング
- [15] まとめ

【教科書】

諏訪茂樹(2019)：看護のためのコミュニケーションと人間関係 ―アクティブ・ラーニングで身につける技術と感性、中央法規出版

【参考書】

指定なし

【評価方法・評価基準】

1. 授業への参加度(60%)、2. レポート試験の成績(40%)
- なお、トレーニングなどの演習と多数取り入れるため、遅刻すると授業に参加できなくなることもある。

【講義のために必要な事前・事後学習】

1. 授業中に伝えた教科書のページを、次の授業までに読んでおくこと。
2. 授業中に取り組みなかった教科書の単独ワークは、授業後に取り組むこと。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ．教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅲ．チーム医療におけるコミュニケーションとコラボレーション能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

解答例を示すことがある。

【備考】

特になし